



TITLE:

まえがき(<特集>京都大学)

AUTHOR(S):

松田, 博嗣

CITATION:

松田, 博嗣. まえがき(<特集>京都大学). 物性研究 1968, 9(4): 179-179

ISSUE DATE:

1968-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86151>

RIGHT:

ま え が き

北大、阪大、名大、東大教養と続いた特集もやや頓座の形です。皆さん研究にお忙しいことありましようし、これまでの出来ばえが見事であつたので、或は躊躇される向きもあるのではないかと思います。編集部としては何とか皆様方からの気軽な御投稿を望んでいるわけで、一つ見事でない方の見本も作ろうというので、われわれで京大特集を試みました。

それにしても研究室だよりだけをまとめたのでは余りに芸がなさすぎると思っていた所、アイディアマンの西川さんが、素粒子のお歴々から物性の先生方に質問を出してもらうというグループ対談形式の座談会案を出されました。湯川先生方をダシにして物性の先生方のつるし上げをしようという下心かどうかは判りませんが。

折しも総長選挙の日が11月12日に回ってきました。この日は講師以上日曜日に登学して、第1次、2次、3次と投票をくり返すことになっています。この機会を捉えてお忙しい先生方に基研まで御足労を願い、座談会を開きました。時間の不足と、司会の不手際もあって、特に物性の未来について生物関係以外の問題が話され足りなかったようです。また物性の先生方から物性の現状について、もっと突っ込んだ話を引き出すべきであったとも思われます。

それはとにかくこの座談会を種にして、また若手で座談会を開くとか開かぬとかいう話もありました。もしこれがこのような話し合いの場の糸口にでもなれば大変有難いと思います。尚、御出席の先生方と録音再生とまとめに努力された方々に感謝します。

編集部員を代表して

松 田 博 嗣